

5 第33回国民文化祭・おおいた2018に出場して

○第33回国民文化祭・おおいた2018

「第33回国民文化祭・おおいた2018」は、平成30年10月6日から平成30年11月25日まで開催されました。本県から出演していただいた団体に、その感想を寄せていただきました。

1

広島文教女子大学和太鼓部「文教太鼓 仁」 (広島市)

太鼓の祭典 平成30年10月14日(日) J:COM ホルトホール大分

この度は、第33回国民文化祭・おおいた2018太鼓の祭典に、広島県代表として参加させて頂き、誠にありがとうございました。

私たち「文教太鼓 仁」は、部員の大半が大学入学後から和太鼓を始めました。そのため、他団体の演奏を目にする機会も少なく、私たちも私たち自身の演奏を客観的に評価することが出来ていませんでした。しかし、今回この大会に出場させて頂き、他団体の素晴らしい演奏を拝見し私たちの演奏のレベルや、これから私たちが取り組むべき明確な課題と目標を見つけることが出来とても勉強になりました。またものすごく意欲も湧きました。

その中で、運営関係者の皆様には丁寧に対応していただき、私たちが今持っている力は全て発揮することが出来ました。本当にありがとうございました。



銭太鼓高杉会 (三次市)

太鼓の祭典 平成30年10月14日(日) J:COM ホルトホール大分

第31回のあいち大会に続き2度目の出場となる第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」に出場させて頂きありがとうございました。

出演会場は、大分市が誇る「J:COM ホルトホールおおいた」で、ゲスト団体を含む32団体、430人が出演しました。

全国の各地域で育まれた特色のある伝統・創作太鼓の演奏と、バチの先から爪先まで、神経の張りつめた動作と気合いの入った大声で、迫力のある演技に感動致しました。

そうした中で、緊張しながらも和太鼓との共演で、持ち味であるパイの投げ合い、衣装の早変わりなどの演出で大きな反響をいただきました。

これからもこの度の体験を生かし、より一層練習に励み、多くの人に喜びと感動を与えられるような演奏を目指して活動して参りたいと思います。



JapaneseDrum 和☆Rock Jr. (呉市)

太鼓の祭典 平成30年10月14日(日) J:COM ホルトホール大分

この度は、第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」に、広島県代表として参加させて頂きありがとうございました。

今回の出演会場はJ:COM ホルトホール大分、ゲスト団体を含む32団体が参加、出演できました。

私達和☆Rock Jr.にとっては初めてとなる、全国の団体が集まる大会。大分県の団体をはじめ、とてもレベルの高い表現、演奏を鑑賞することができ、とても勉強になりました。

メンバー全員大きな舞台で大変緊張しましたが、力を合わせていつも以上の演奏ができたと感じています。また、大きな拍手も頂き今後の励みになりました。今後とも元気一杯、練習に取り組んで行きたいです。皆様、ありがとうございました。



フラウエンコール布野 (三次市)

合唱の祭典 平成30年10月21日(日) 津久見市民会館大ホール

この度は、「第33回国民文化祭・おおいた2018『合唱の祭典 in 津久見』」に広島県代表として推薦していただき、大変光栄なことと感謝申し上げます。

全国から15団体が参加され、盛大に開催されました。各出演団体の歌、パフォーマンス、衣装も大変工夫されており、とても良い刺激を頂きました。私たちの団は、団員数が少ないのですが、歌う喜びや合唱の楽しさを皆様に届けることができる様練習をしてきました。

とても楽しい一時を過ごさせていただき、ありがとうございました。



琴伝流大正琴カトレア・あじさい会 (廿日市市)

大正琴の祭典 平成 30 年 11 月 11 日 (日) 宇佐文化会館ウサノピア

八幡社のふるさと宇佐の地で、「第 33 回国民文化祭・おおいた 2018・大正琴の祭典」に県の推薦を頂き、出演することが出来とても光栄に思います。

今回の祭典は、実り豊かな「豊の国」と称される大分の宇佐文化会館・ウサノピア大ホールで、「大人の部」と「子供の部」の 2 部構成で開催されました。全国から「大人の部」14 団体が参加され素晴らしい演奏ばかりで、緊張の 7 分でしたが、無事演奏することが出来ました。他の団体と親しく交流することは出来ませんでした。ある参加団体から「とても良かった」とメッセージやお茶菓子を頂き、感謝すると共に、力も頂きました。

この経験を生かし「練習は、嘘をつかない」をモットーのこれからも精進して参ります。

この大会にお力添え頂きました関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。



錦川流錦川会 (広島市)

日本舞踊の祭典 平成 30 年 11 月 11 日 (日) 大分県立総合文化センター

第 33 回国民文化祭・おおいた 2018『日本舞踊の祭典』に広島県代表として出演させていただき、ありがとうございました。

日本三景の一つ、また世界遺産である安芸の宮島を唄った『常磐津 厳島』を 4 人立ちで演じさせていただきました。温かい会場の雰囲気の後押しされ精一杯、舞うことが出来ました。

何よりも各都道府県の熱気あふれる演技を拝見させていただき、今後の稽古により一層励んでいく活力になりました。また、日本舞踊の新しい魅力を若い世代に伝えながらも、古き良き古典の奥深さを大切に日々精進していきたいと思えます。

関係者の皆様、この様な機会と出会いを与えて下さり心より感謝申し上げます。



第33回国民文化祭・おおいた2018「邦楽の祭典」へ、広島県の推薦を頂き出演しました。初めての体験で期待と緊張を胸に会場入りしましたが、現地スタッフの皆さんのサポートとお心遣いで、リハーサルから本番まで安心して演奏に集中することができました。会場では足湯やお茶席も設けられており、別府ならではのおもてなしも楽しませて頂きました。

一番嬉しかったのは、わたしたちの演奏曲が、今回のテーマ「新時代を切り開く」に、もっともあっている曲かもしれないとおっしゃっていただけましたことです。

このたびの貴重な経験を今後の糧とし、ますます精進して参ります。

